

ほけんだより

ぬくもり

埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん

あっという間に桜も散り、まだ4月だというのに、暑さを感じるようになりましたね。身体が暑さに慣れていない時期なので、疲れを感じやすいと思います。こまめな水分補給と、休みの日も含めて、同じリズムでの生活を心掛けてください。

発育測定を行いました!

「おおきなあれ」で、入園から卒園までの発育測定の結果をお知らせします。お子さんと一緒に成長の様子を記録し、お子さんの心身の成長の様子を親子でみつめる機会にしてください。



ご家庭では・・・

- 1 名前、生年月日、出生時の身長・体重を記入してください。
- 2 「はついくそくていのきろく」の表の中、4月「_才_カ月」の欄には、発育測定時のお子さんの月齢を記入してください。
- 3 「せいちょうのようす」の欄には、お子さんが夢中になっていること、最近できるようになったこと等、おうちの方が、今のお子さんの心と体の成長の様子を自由に記録してください。
- 4 グラフ「横断的身長・体重曲線」に、お子さんの身長と体重の測定値をそれぞれ記録してください。入園前の測定値も記録すると、成長の様子がよりわかりやすくなります。

※「おおきなあれ」は黄緑色の封筒に入れて、4月30日(火)までに、事務室受付へ提出してください。

横断的身長・体重曲線について

成長曲線を描くことで、身長や体重がバランスよく成長しているかがわかります。

グラフ上にあるSD値(+2SD~-3SD)とは、標準偏差の略です。標準偏差とは、簡単に言うと、平均からどれくらい離れているかの幅のことです。マイナス数値が大きくなるほど低身長、プラスの数値が大きくなるほど高身長ということになります。

体の成長には個人差があります。伸びる時期も人それぞれです。平均と比較するのではなく、お子さんの伸び方(増え方)が大切です。身長が-2SD以下の数値をたどる場合や、曲線がなめらかではなく、急に横ばいになった場合などは、注意が必要です。お子さんの成長曲線を描いていて、気になることがありましたら、養護教諭へご相談ください。

発育測定前のかからだのおはなし(2・3組)

“今の4、5歳から、前にさかのぼると、まだ歩けない赤ちゃんで、それよりもさかのぼると、お母さんのお腹の中にいて、(お腹の中にいるときも、呼吸や栄養をもらって生きていた。)もっともっときかのぼると・・・みんな針を刺したくらい小さな命のもとだった。小さい命のもとから、お母さんのお腹にいた時も併せて、約5、6年経って、ここまで成長してきた。” というお話をして発育測定をしました。こどもたちが自分の身体の成長を実感できているといいなと思っています。

それぞれの健診の前には測定や検査の仕方も含めて、からだのはなしをしていきます。